



「お客さま本位の業務運営の基本方針」の取組状況 (2024年度)



清水銀行



目次

基本方針

1. お客さまの最善の利益の追求	P2
2. 利益相反の適切な管理	P3
3. 手数料の明確化	P4
4. お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供	P5～P7
5. お客さまへの最適なサービスの提供	P8～P18
6. 役職員に対する評価体系と教育体制の整備	P19～P20
共通KPI 投資信託	P21～P24
共通KPI 外貨建保険	P25～P27



はじめに

原則2

- ◆金融庁が2017年3月30日に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」の主旨を踏まえ、2017年6月28日に策定した「お客さま本位の業務運営の基本方針」(2025年6月30日改定)に基づく、2024年度における当行の取組状況について公表いたします。
- ◆当行は、経営理念に掲げている「お客様に親しまれ、喜ばれ役にたつ銀行をつくる」に基づき、地域金融機関としての社会的責任と公共的使命を認識し、役職員1人ひとりが高い倫理観を持ち、誠実に業務に取り組んでおります。
- ◆今後もより良い業務運営の実現に向け、「お客さま本位の業務運営の基本方針」に沿って取組状況の集約・検証・公表を行い、基本方針や取組施策の定期的な見直しを含む態勢の改善を続けてまいります。





基本方針1－(1) お客様の最善の利益の追求

原則2(注)

◆当行は、第28次中期経営計画において、「ソリューション営業の高度化」を基本方針の一つに掲げ、お客さま本位の業務運営の実践に取り組んでおります。

お客さま本位の業務運営の実践

お客さまの最善の利益を追求（長期・積立・分散）

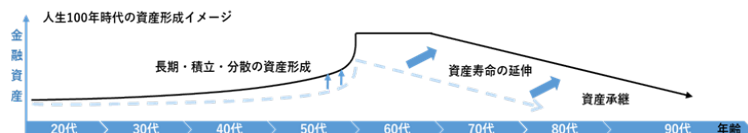
重要情報シートの活用



個人コンサルシートの導入



お客さまニーズに応じた商品ラインナップの整理・拡充



多様な銀行利用者のニーズに応じた金融サービスの提供

高齢者等向けサービス拡充

後見制度支援サービス拡充



お客さまの金融リテラシー向上に資する取り組み実施

職域セミナー、ウェビナーの実施



NISA制度・iDeCo等



◆「お客さまの最善の利益」の追求のため、お客さまのニーズに応じた商品ラインナップの整理・拡充を行うとともに、お客さまとの対話を通じて、知識、経験等を踏まえた、お客さま1人ひとりのニーズに合った商品・サービスのご提供に努めてまいります。

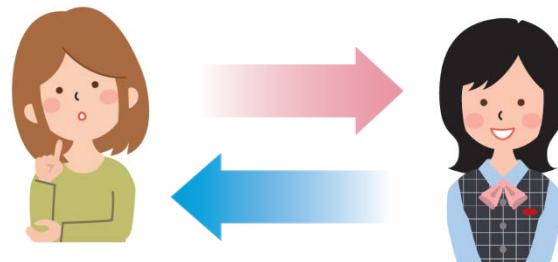


基本方針2－(1) 利益相反の適切な管理

原則3

原則3(注)

- ◆当行では、当行または当行のグループ会社(以下、「当行等」といいます)とお客さまの間、ならびに、当行等のお客さま相互間における利益相反のおそれのある取引に関し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、行内規則として「利益相反管理規則」を定め、「利益相反管理方針」を、当行ホームページにて公表しております。当行は、利益相反を適切に管理すべく、利益相反管理体制を整備し、適正な業務を遂行しております。
- ◆当行は、当行が受け取る手数料等の多寡や商品提供会社との関係によってお客さまの利益が不当に損なわれることを防止するため、営業部門から独立した管理部門による、新たに取扱う投資信託や保険等の預かり資産の選定プロセスの検証および販売動向等のモニタリングを行い、内部管理態勢を強化しております。
- ◆当行は、お客さまにご提案する投資信託や保険等の金融商品について当行のグループ会社から提供を受けることはありません。



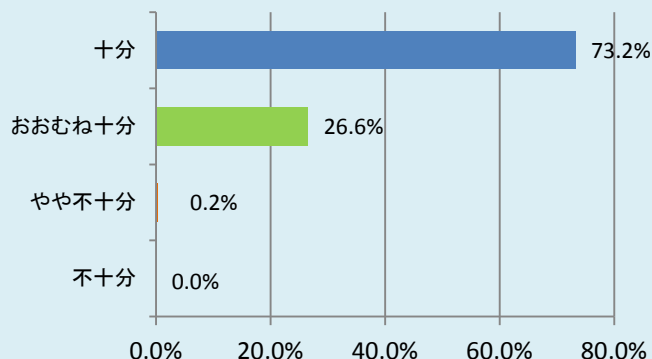


基本方針3－(1) 手数料の明確化

原則4

- ◆ 当行は、お客さまにご負担いただく手数料等について、分かりやすい丁寧なご説明に努めております。
- ◆ 投資信託については、商品ごとの手数料等を容易に比較いただけるよう、商品のご説明時に「重要情報シート」や「投資信託お申込み手数料一覧」を用いたご説明を行っております。また、ご購入時には、タブレット上で手数料等を必ずご確認いただいた上でお申込みを受付することとしております。
- ◆ 保険商品については、「重要情報シート」や「概要資料」にて当行が受け取る手数料についてご説明のうえ、タブレット上で募集に関する確認事項をご確認いただいた上でお申込みを受付することとしております。

Q:ご購入の商品にかかる手数料(購入時、保有時、売却・解約時)や費用等の説明は分かり易い説明でしたか



当行の金融商品をご購入いただいたお客さまを対象に行ったアンケートでは、99.8%のお客さまから手数料について十分もしくはおおむね十分な説明が受けられた、とのご回答をいただきました。



基本方針4－(2) お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供

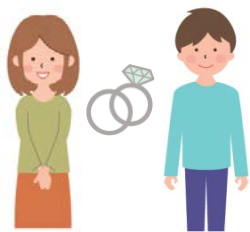
原則5(注3)

- ◆当行は、お客さまの知識や投資経験に合わせたご説明を行うため、目論見書や商品概要書、タブレット等を活用し、リスク、リターン、手数料等の費用について、丁寧なご説明とわかりやすい情報のご提供を目指しております。
- ◆当行は、ゴールベースアプローチの運用を分かりやすくご説明するツールとして、ウェルスアドバイザー社の提供する「Wealth Advisor」を導入し、同種の商品のリスク、リターンの比較や、既に保有されている投資信託を含めたポートフォリオ提案を行っております。



「ゴールベースアプローチ」とは？

・ゴールベースアプローチの「ゴール」とは、「5年後に車の購入費用として300万円を貯める」「10年後に子どもの教育費用として500万円貯める」など、将来の目標を意味します。ゴールベースアプローチとは、最終目標(ゴール)を定め、そこから逆算して投資方針を決める、という考え方です。





基本方針4－(3) お客さまへの重要な情報の分かりやすい提供

補充原則5(注1)(注2)

◆当行は、お客さまにより良い金融商品をお選びいただけるよう、金融商品の組成に携わる金融事業者と連携し、金融商品の組成に携わる金融事業者の「運用体制」や「販売実績」、「ビジネスモデル」等の情報についても、必要に応じて、お客さまへの情報提供を行ってまいります。

※金融商品の組成に携わる金融事業者とは、資産運用会社や保険会社等が該当します。

※上記の情報提供につきましては、令和8年度(予定)より実施いたします。



(注) 当行は「金融商品の組成に携わる金融事業者」ではないため、以下の原則に対応する箇所はございません。

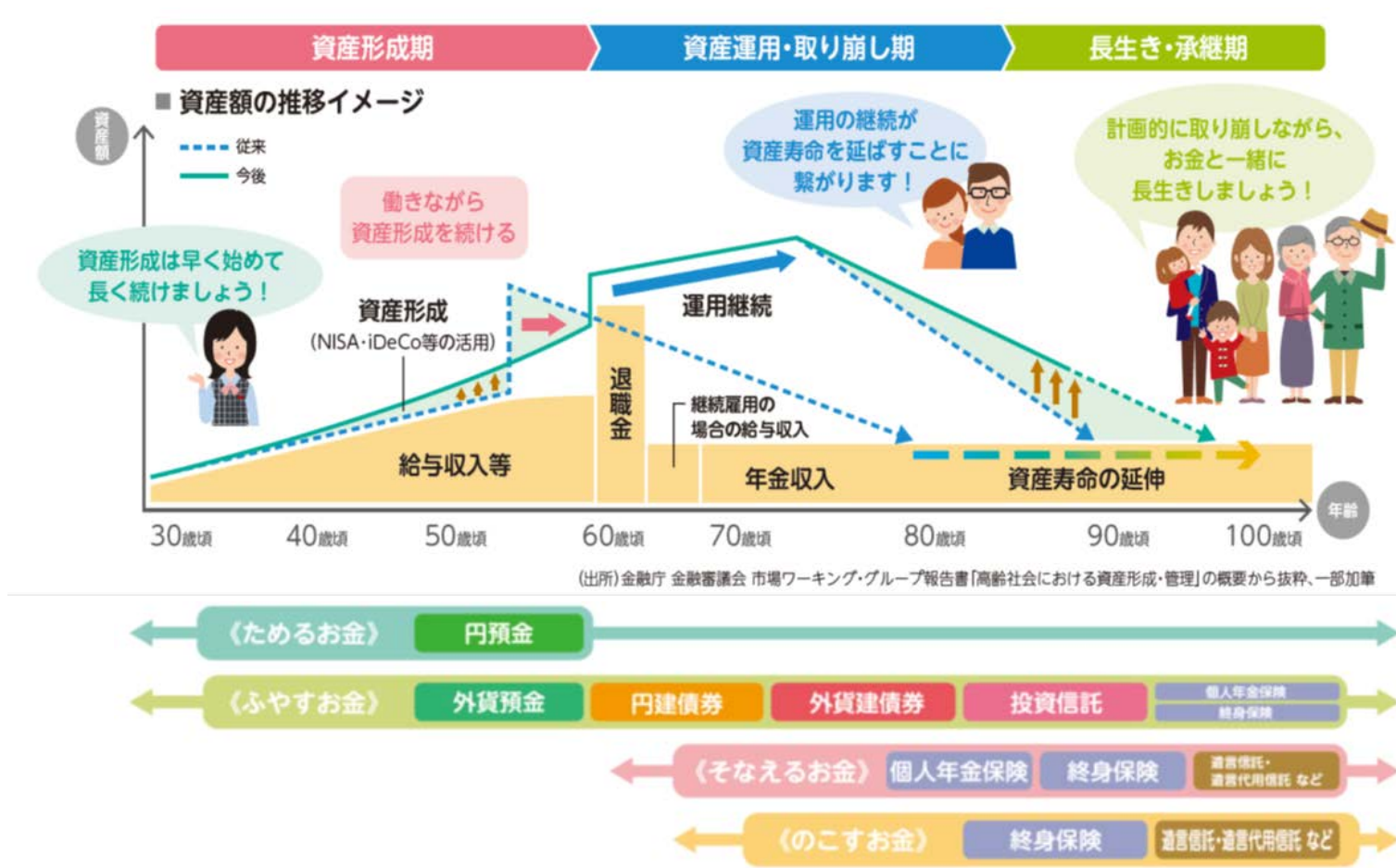
- ・補充原則1
- ・補充原則2、補充原則2(注1)、補充原則2(注2)
- ・補充原則3、補充原則3(注1)、補充原則3(注2)、補充原則3(注3)
- ・補充原則4、補充原則4(注1)、補充原則4(注2)、補充原則4(注3)
- ・補充原則5



基本方針5－(1) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6

- ◆当行は、お客さまのニーズに幅広くお応えできるよう、継続的に商品ラインナップの見直しを図っております。
- 今後も、お客さまのライフイベントやニーズに対し、お役にたてる最適な金融商品・サービスのご提供に努めてまいります。





基本方針5－(1) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6

投資信託ラインナップ（2025年3月末）

カテゴリー	取扱い数	比率
国内債券型	1	1.0%
国内株式型	10	9.8%
国内リート型	4	3.9%
海外債券型	29	28.4%
海外株式型	30	29.4%
海外リート型	7	6.9%
バランス型	21	20.6%
合計	102	100.0%

保険商品ラインナップ（2025年3月末）

カテゴリー	取扱い数	比率
定額個人年金保険（円建）	3	7.1%
定額個人年金保険（外貨建）	6	14.3%
変額個人年金保険（円建）	0	0%
変額個人年金保険（外貨建）	4	9.5%
一時払い終身保険（円建）	7	16.7%
一時払い終身保険（外貨建）	14	33.3%
個人年金保険（平準払）	3	7.1%
終身保険（平準払）	1	2.4%
がん保険	2	4.8%
医療保険	2	4.8%
合計	42	100.0%

2024年度 導入商品：投資信託3商品、保険2商品

販売停止商品：保険1商品



2024年度投資信託販売上位5銘柄

順位	投信会社名	商品名	投資対象	分配周期
1	フィデリティ投信	フィデリティ・米国株式ファンドDコース (分配重視型)(為替ヘッジなし)	内外株式	年4回
2	フィデリティ投信	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	海外REIT	毎月
3	野村アセットマネジメント	のむらップ・ファンド(積極型)	内外資産複合	年1回
4	野村アセットマネジメント	のむらップ・ファンド(普通型)	内外資産複合	年1回
5	大和アセットマネジメント	iFree S&P500インデックス	海外株式	年1回

2024年度一時払い保険販売上位5銘柄

順位	保険会社名	商品名	商品種類
1	T&Dフィナンシャル生命	ファイブテン・ワールド4	個人年金保険
2	日本生命	ロングドリームGOLD3	一時払終身保険
3	第一フロンティア生命	プレミアカレンシー3	個人年金保険
4	T&Dフィナンシャル生命	生涯プレミアムワールド6	一時払終身保険
5	住友生命	ふるはーとJロードグローバルⅢ	一時払終身保険



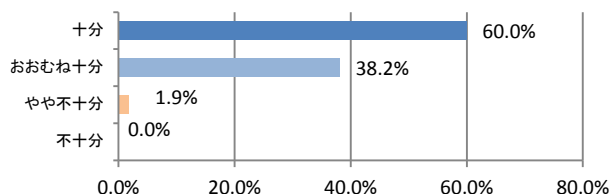
基本方針5－(1) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6

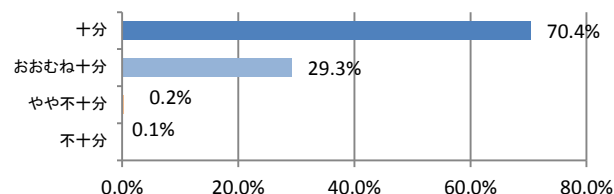
お客さまアンケートの実施

- ◆当行は、金融商品をご購入いただいたお客さまに対し、お客さまアンケートにご協力いただいております。
アンケート結果については、本部で分析のうえ、商品・サービスの向上に活用しております。

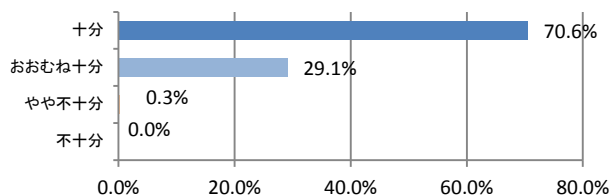
Q: 当行の商品ラインナップは、お客さまのニーズにお応えするに十分ですか？



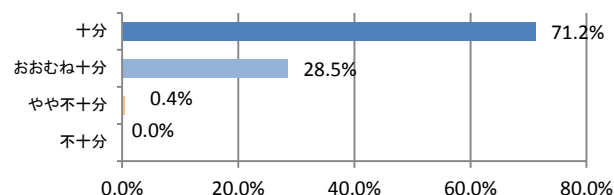
Q: 受付した担当者の専門的な知識の豊富さについて教えてください。



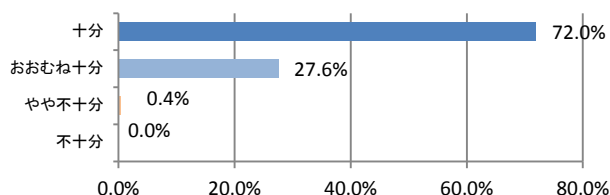
Q: 担当者のお客さまのご要望に対する理解度について教えてください。



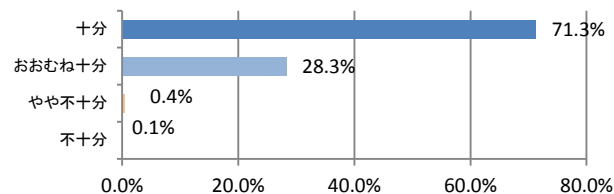
Q: 担当者はお客さまのライフプランやご希望・ニーズに合ったご提案でしたか？



Q: 担当者との商品選定までの対話の充実度について教えてください。



Q: 担当者は商品のデメリット等の説明は分かりやすい説明でしたか？





基本方針5－(2) お客様への最適なサービスの提供

原則6(注1)(注2)

- ◆当行では、お客さまに最適なご提案ができるよう「マネープランガイド」「ライフプランガイド」「Wealth Advisor」「非課税制度活用ガイド」等を用いて、お客さまのライフステージごとに必要なお金をご確認いただき、資産の色分けについて、お客さまと一緒に考えてまいります。
- ◆ご提案する商品に類似する商品がある場合には、あわせてその商品もご案内し、お客さまがご納得のうえ金融商品を選択していただけるよう努めております。
- ◆投資信託や保険等の預かり資産販売にあたっては、ご提案の都度ヒアリングシートを使用し、お客さまの投資の知識・経験、金融資産の保有状況、取引目的等を確認させていただいた上で、お客さまのニーズに沿ったご提案を行ってまいります。

マネープランガイド

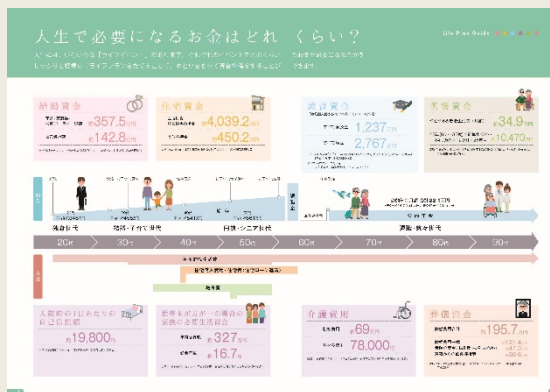
金融資産商品 運用方針とコストイメージ

お客さまにあった商品をお選びください。お客さまのご意向に沿った商品をご提案します。

運用方針	商品名	運用方針	商品名	運用方針	商品名	運用方針	商品名
現金・預金	現金・預金	現金・預金	現金・預金	現金・預金	現金・預金	現金・預金	現金・預金
債券	債券	債券	債券	債券	債券	債券	債券
株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式	株式
商品	商品	商品	商品	商品	商品	商品	商品
不動産	不動産	不動産	不動産	不動産	不動産	不動産	不動産
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他

お客さまのご意向に沿った商品
選定となるようご提案します。

ライフプランガイド



ライフステージごとお客さまに合わせた
ご提案を行っております

Wealth Advisor



当行取扱い投資信託のリスク・
リターン等の比較が可能です



基本方針5－(2) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6(注1)(注2)

新NISA制度を踏まえた取組み

- ◆2024年1月の新NISA制度開始に伴い、店頭において「NISAを活用した積立投資信託」動画を放映し、「かんたんNISAガイド」をお配りすることで、投資未経験のお客さまでも自身のライフプランに応じた資産形成への気づきや、ゴールベースアプローチの考えに基づく資産形成に興味関心をもっていただけるよう、取り組んでおります。

「NISAを活用した積立投資信託」動画



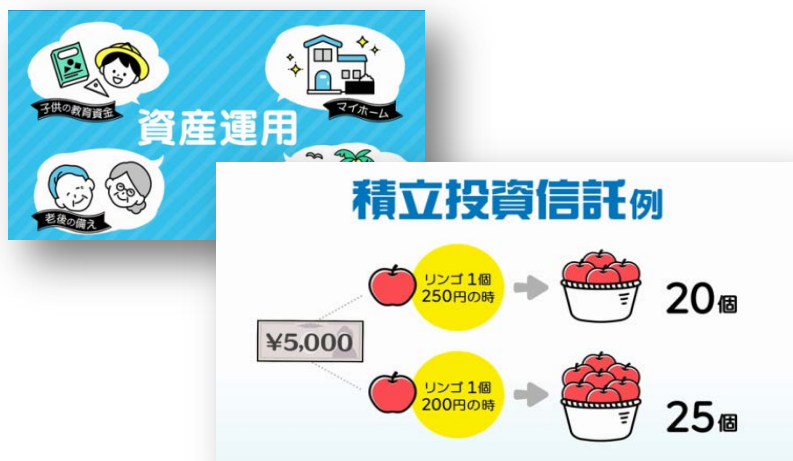
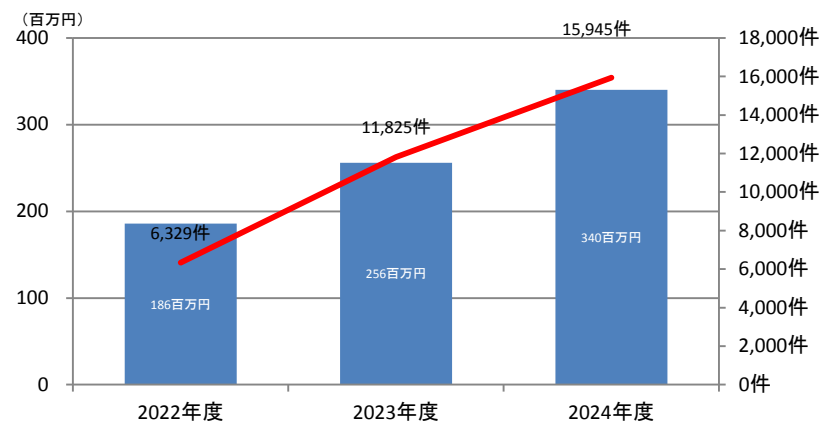


基本方針5－(3) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6(注4)(注5)

- ◆当行では、特に資産形成層や投資経験の少ないお客さまに対して、投資信託や保険等の預かり資産をご説明する際、長期的に安定した運用成果が、お受け取りいただけるよう「長期・積立・分散」による投資をご案内しております。

積立投資信託の累計契約件数・期末単月積立額



- ◆満70歳以上のお客さまが投資信託や保険等の預かり資産のご提案を希望された場合、原則としてご親族さまの同席をお願いしております。ご親族さまが同席できない場合には、当行側の担当者と役席者の複数名で面談し、お客さまに十分ご理解いただけるよう努めるとともに、アフターフォローの際に、ご親族さまに同席をお願いする等、お客さまご自身だけでなく、ご親族さまにもご理解をいただけるよう努めております。



基本方針5－(4) お客さまへの最適なサービスの提供

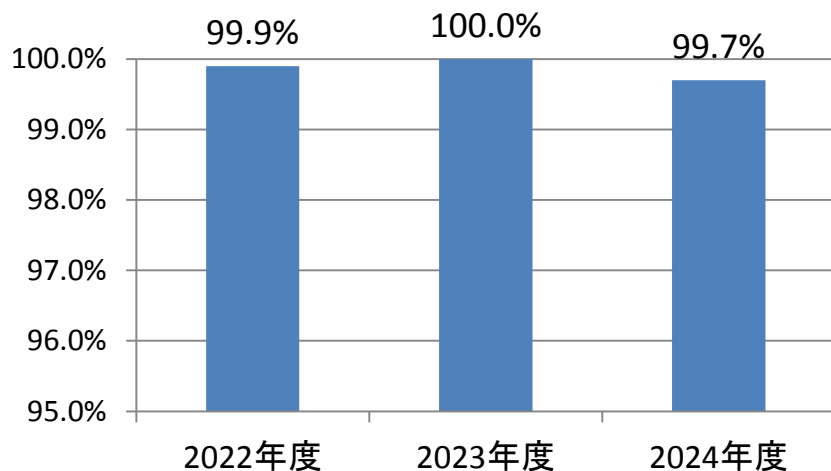
原則6(注1)

◆当行は、投資信託や保険等をご購入いただいた後のアフターフォローが重要であると考えております。

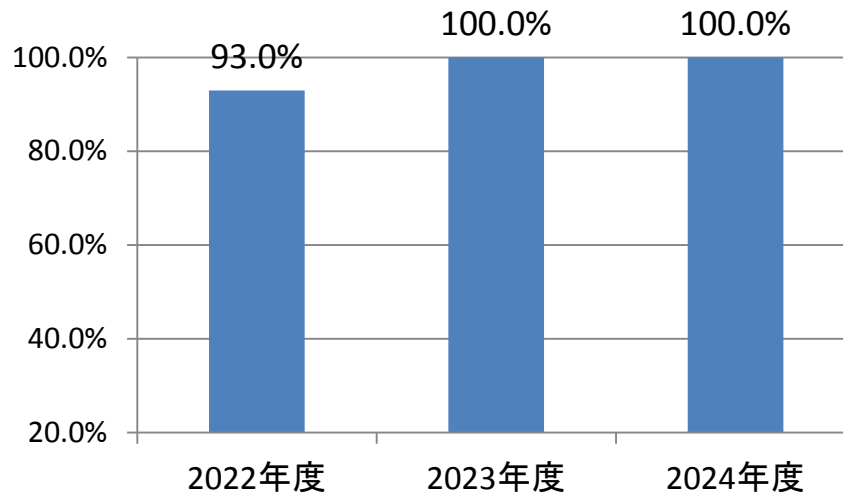
投資信託については、損失の出ているお客さまや、基準価額の大幅な下落時、分配金の引下げ時等の場面において、また、投資経験の少ないNISA口座を開設されたお客さま等に対し、原則お客さまと対面のアフターフォローを実施しております。

◆外貨建保険や変額保険をご契約されている高齢のお客さまに対しては、最低年1回、契約内容等をご説明するアフターフォローを実施しております。また、一時払い保険に関して目標値を定められたお客さまに対しては、目標値の見直し等について、アフターフォローを実施しております。

投資信託販売後のアフターフォロー実施状況



外貨建保険販売後のアフターフォロー実施状況





基本方針5－(4) お客さまへの最適なサービスの提供

原則6(注1)

お客さまセミナー

- ◆当行では、お客さまの金融リテラシー向上に向け、個人でお取引いただいているお客さまや、お取引先企業の従業員さまに対して、資産形成にかかるお客さまセミナーを開催しております。
- ◆2024年度は資産運用の必要性を中心とした内容にてセミナーを開催いたしました。

対象者	セミナーの主な内容	延べ参加者数
お客さまセミナー	資産運用の必要性、相続対策等について	368名
職域セミナー	資産運用の必要性、市況等について	283名

金融経済教育への取り組み

当行は、静岡県立大学および静岡大学において、当行役職員を講師とする講義を、2024年度は延べ29回行いました。地域金融機関として、地域の金融リテラシー向上のお役にたてるよう、今後も同様の取組みに積極的に取り組んでまいります。





基本方針5－(5) お客様への最適なサービスの提供

◆当行は、金融商品の組成に携わる金融事業者から公表される「想定するお客様の属性」等の情報について十分に検討し、当行においても、お客様の属性やニーズ、リスク許容度等を考慮したうえで、お客様にふさわしい金融商品をご提案するよう努めてまいります。



※金融商品の組成に携わる金融事業者とは、資産運用会社や保険会社等が該当します。

※上記の取り組みにつきましては、令和8年度(予定)より実施いたします。





基本方針5－(6) お客さまへの最適なサービスの提供

- ◆当行は、金融商品の組成に携わる金融事業者と建設的なコミュニケーションを図ることでお客さまの最善の利益実現に資する商品提供に努めてまいります。
- ◆当行は、金融商品の組成に携わる金融事業者と相互に情報連携および情報共有を行い、金融商品の販売体制の整備等に活用してまいります。

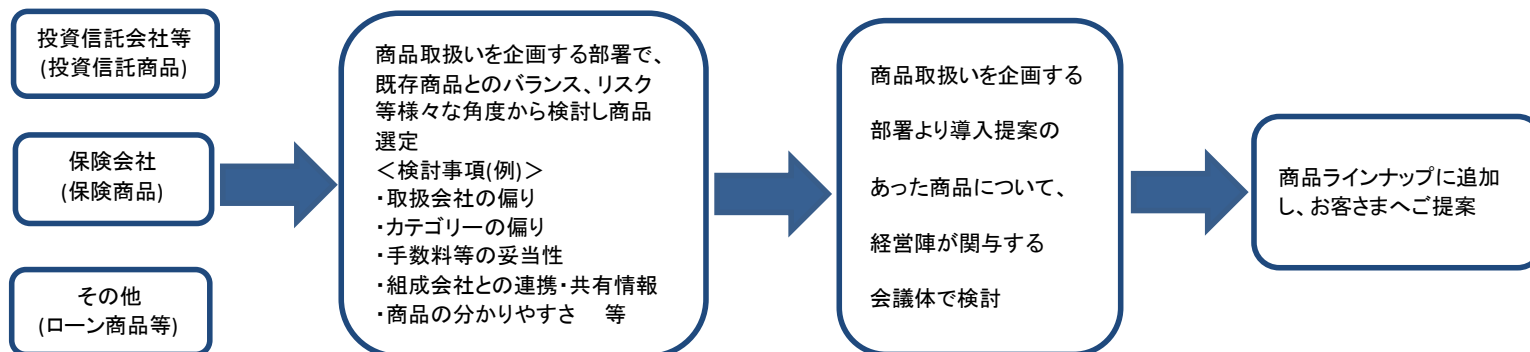
※金融商品の組成に携わる金融事業者とは、資産運用会社や保険会社等が該当します。

※なお、上記の取り組みにつきましては、令和8年度(予定)より実施いたします。

＜連携する情報例＞

当行における金融商品の販売状況、ご購入いただいたお客さの属性やお客さまのご意見等、その他

商品導入までのイメージ





基本方針6－(1) 役職員に対する評価体系と教育体制の整備

業績評価体系について

- ◆当行では、お客さまの最善の利益の追求のため、お客さまの資産運用についてのお考えをお伺いし、金融商品に関する知識や経験、財産状況、購入等の目的等を総合的に勘案して、お客さま一人ひとりのニーズに沿った金融商品やサービスをご提案することを目的として、営業担当者の評価がお客さまからいただく手数料に影響されない評価体系としております。
- ◆また、お客さまの課題解決に向けた取組みを評価できるようプロセス評価を導入し、役職員がお客さま本位の業務運営を実践に努める体制としております。





基本方針6－(2) 役職員に対する評価体系と教育体制の整備

原則7(注1)

行員への教育体制

- ◆ 当行役職員は、当行取扱いの投資信託や保険等の預かり資産の理解を深め、運用に関する知識を最新情報にアップデートすることを目的として、web勉強会に積極的に参加し、お客さまに最適なご提案ができるよう努めております。**（行員向け行内研修等の実施回数・延べ受講者数 2024年度 35回 3,716人）**
 - ◆ お客さまの資産形成のご支援のため、行員1人ひとりが高い専門性をもつことができるよう、FP技能士の資格取得支援を積極的に行っております。対面だけでなくWebやe-ラーニングによる対策講座を用意し、資格取得に挑戦しやすい環境を整備しております。**（FP 関連資格延べ取得者数 2024年度 592人）**
 - ◆ また入行2年目を対象に、マーケット情報や経済状況を読み解く力、運用の見通しを自分自身で判断する力を習得するため、SBIグループが提供するプラットフォームを活用した研修を行っております。
- 研修参加者は、ロールプレイング形式のプレゼン大会を目指し、実際のマーケットに連動する運用シュミレーションを行うことで、自身の判断力向上に努めております。

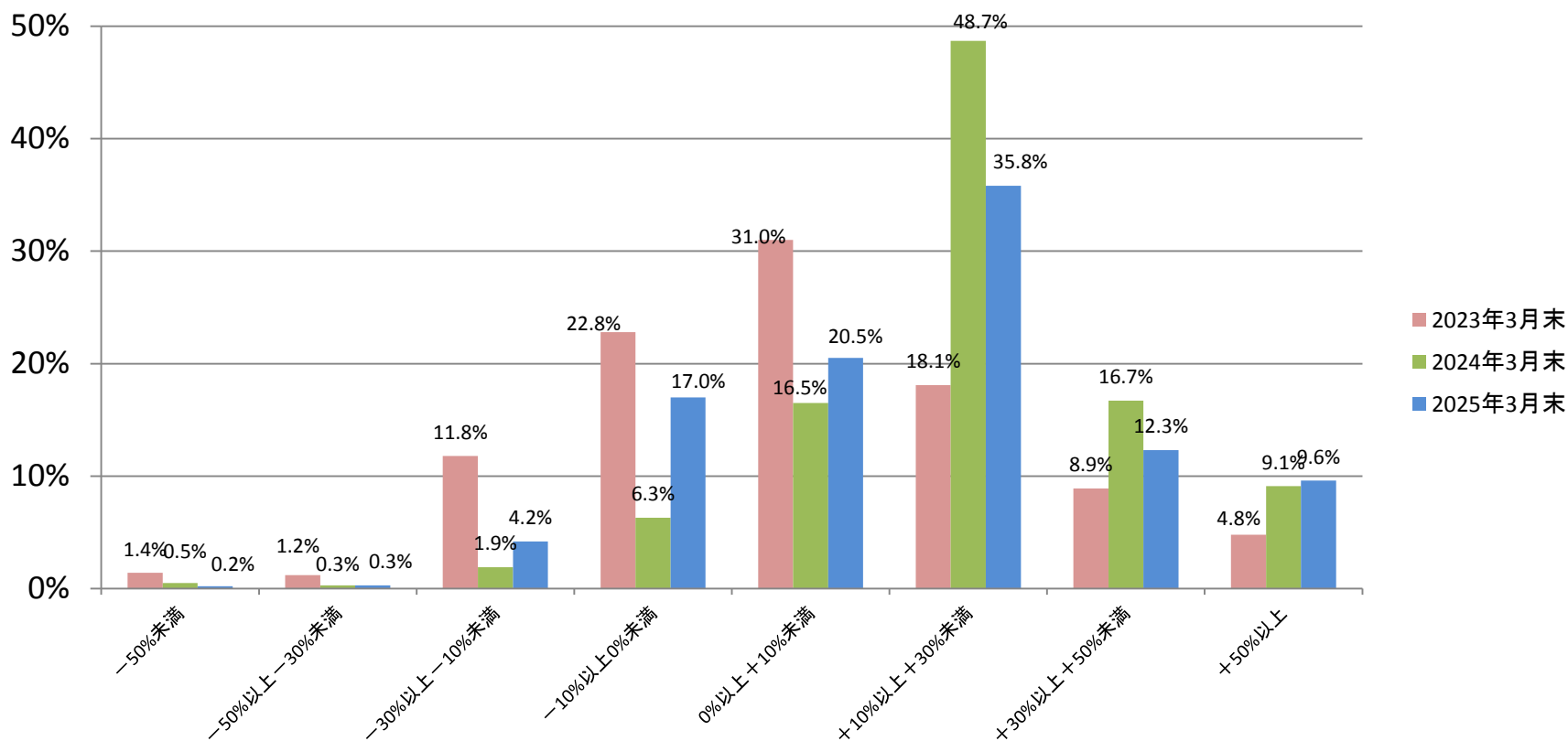




投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて

◆投資信託の運用損益別顧客比率

- ・2023年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は62.7%となりました。
- ・2024年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は91.0%となりました。
- ・2025年3月末時点における運用損益率がプラスとなったお客さまの比率は78.2%となりました。

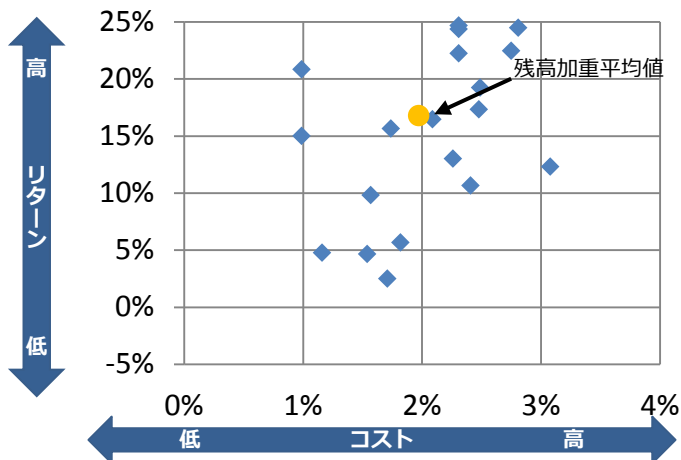




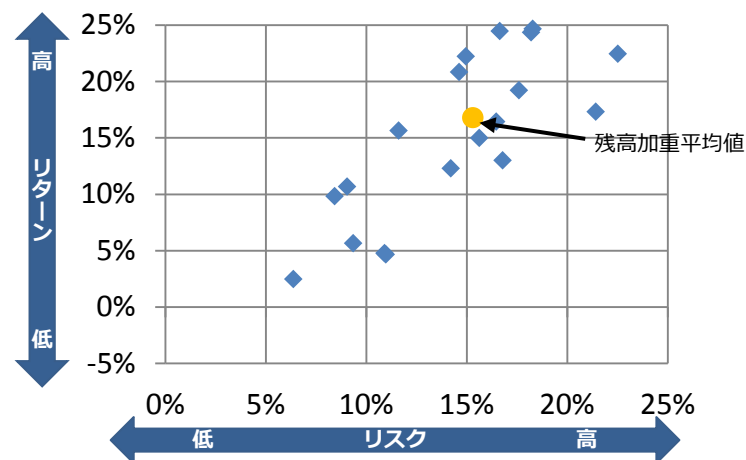
投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて

◆投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン(2025年3月末)

預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン



預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン



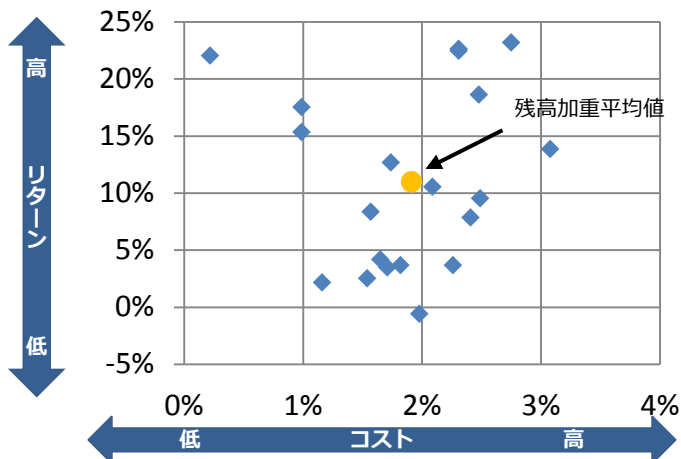
銘柄名	コスト	リスク	リターン	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1. フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.09%	16.47%	16.45%	11. J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	1.54%	10.98%	4.66%
2. フィデリティ・米国株式ファンドDコース (分配重視型・為替ヘッジなし)	2.31%	18.20%	24.37%	12. ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	21.43%	17.33%
3. のむらっぴ・ファンド(普通型)	1.57%	8.43%	9.83%	13. MHAM株式インデックスファンド225	0.99%	15.62%	15.00%
4. のむらっぴ・ファンド(積極型)	1.74%	11.61%	15.64%	14. グローバル・ソブリン・オープン(3ヶ月決算型)	1.71%	6.37%	2.49%
5. iFree S&P500インデックス	0.22%	16.21%	25.29%	15. フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	2.31%	14.96%	22.23%
6. ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	17.61%	19.23%	16. Oneピュア・インド株式ファンド	2.81%	16.64%	24.49%
7. netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	22.53%	22.45%	17. グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.21%	12.31%
8. フィデリティ・米国株式ファンドBコース (資産成長型・為替ヘッジなし)	2.31%	18.28%	24.67%	18. MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.82%	9.36%	5.67%
9. 野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.41%	9.05%	10.67%	19. MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.16%	10.91%	4.77%
10. 米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	14.62%	20.83%	20. ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	16.79%	13.01%
残高加重平均値					1.97%	15.29%	16.80%



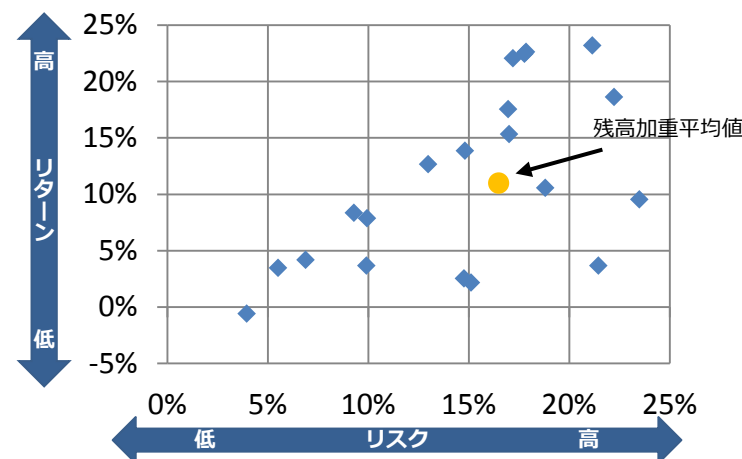
投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて

◆投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン(2024年3月末)

預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン



預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン



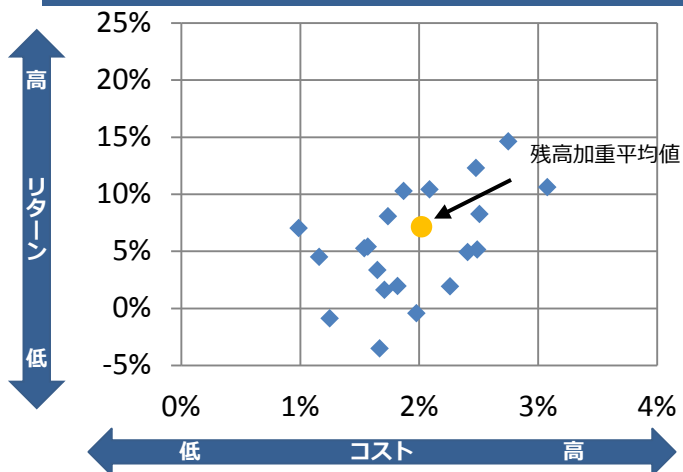
銘柄名	コスト	リスク	リターン	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1.フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.09%	18.82%	10.56%	11.ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.23%	18.63%
2.のむらっぴ・ファンド(普通型)	1.57%	9.29%	8.36%	12.グローバル・ソブリン・オープン(3ヶ月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
3.ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	23.50%	9.54%	13. MHAM株式インデックスファンド225	0.99%	17.01%	15.33%
4. フィデリティ・米国株式ファンドDコース (分配重視型・為替ヘッジなし)	2.31%	17.77%	22.47%	14.ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.46%	3.68%
5. J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	1.54%	14.76%	2.54%	15. MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.82%	9.91%	3.68%
6.のむらっぴ・ファンド(積極型)	1.74%	12.98%	12.68%	16. 米国株式配当貴族(年4回決算型)	0.99%	16.97%	17.54%
7.野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.41%	9.94%	7.87%	17.投資のソムリエ	1.98%	3.95%	-0.58%
8. netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	21.15%	23.19%	18.グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
9. iFree S&P500インデックス	0.22%	17.20%	22.05%	19.三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.65%	6.89%	4.18%
10. MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.16%	15.12%	2.16%	20.フィデリティ・米国株式ファンドBコース (資産成長型・為替ヘッジなし)	2.31%	17.85%	22.64%
				残高加重平均値	1.97%	16.48%	11.00%



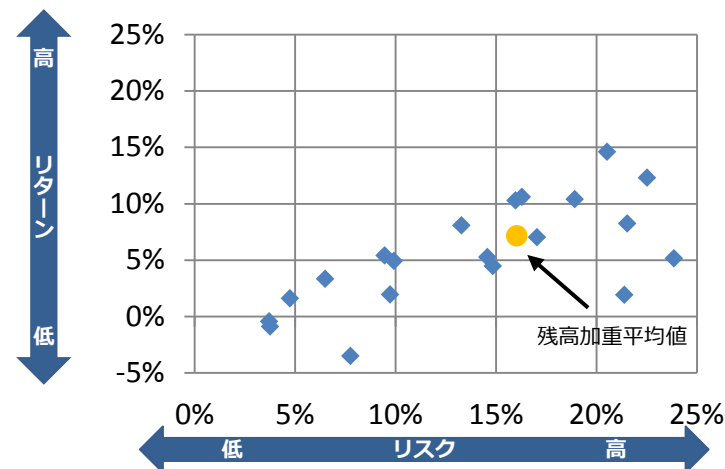
投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて

◆投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン(2023年3月末)

預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン



預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン



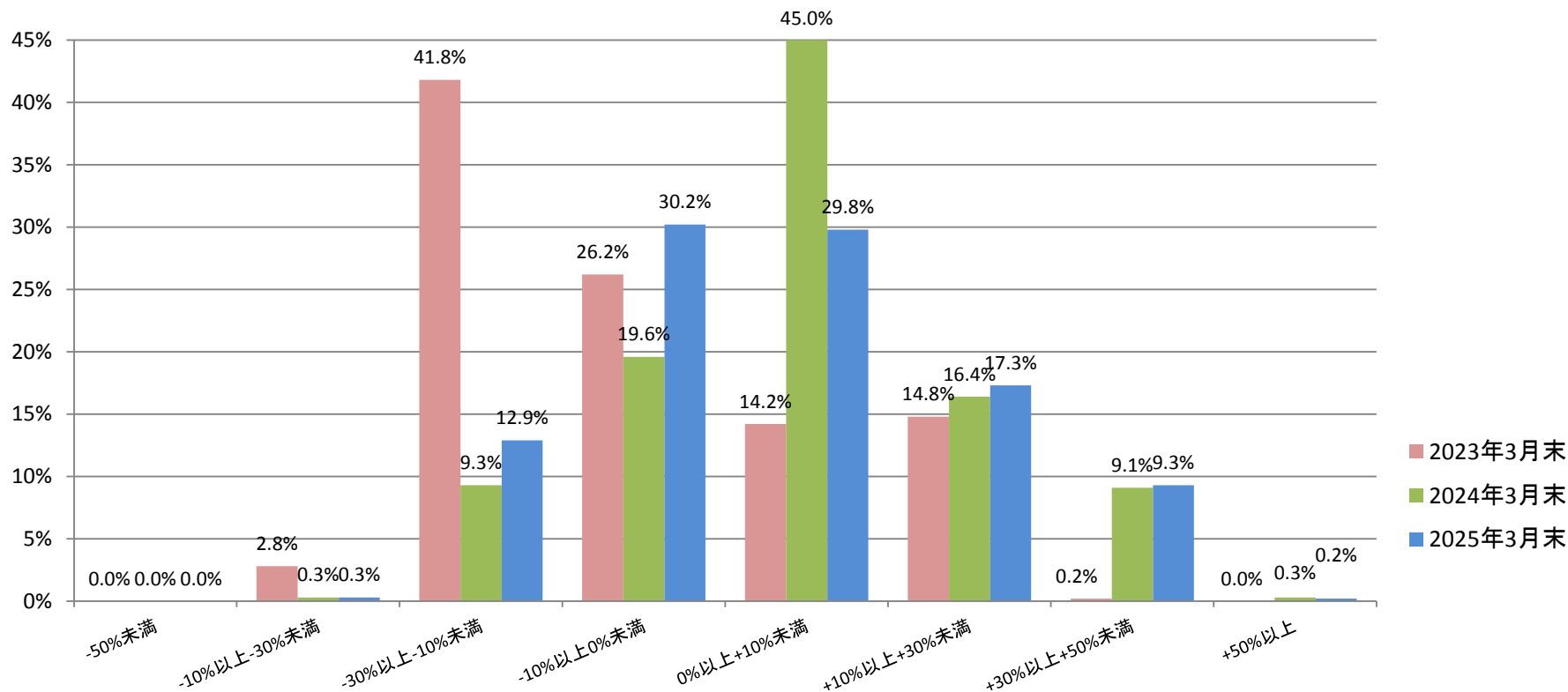
銘柄名	コスト	リスク	リターン	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1.フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.09%	18.92%	10.40%	11. ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.26%	21.39%	1.92%
2.ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	23.86%	5.14%	12. グローバル・ソブリン・オープン(3ヶ月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%
3.のむらップ・ファンド(普通型)	1.57%	9.46%	5.40%	13. 三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	1.65%	6.50%	3.34%
4. J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	1.54%	14.58%	5.25%	14. ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
5. 野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.41%	9.93%	4.92%	15. グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	16.30%	10.59%
6.投資のソムリエ	1.98%	3.72%	-0.44%	16. MHAM株式インデックスファンド225	0.99%	17.04%	7.02%
7. MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.16%	14.85%	4.48%	17. 次世代通信関連世界株式戦略ファンド	2.51%	21.54%	8.24%
8. のむらップ・ファンド(積極型)	1.74%	13.28%	8.06%	18. トレンド・アロケーション・オープン	1.67%	7.76%	-3.52%
9. MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.82%	9.74%	1.95%	19. 東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25%	3.76%	-0.90%
10. netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	20.53%	14.60%	20. グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	1.87%	15.98%	10.28%
				残高加重平均値	2.02%	16.03%	7.16%



外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

◆運用評価別顧客比率

- ・2023年3月末時点における運用評価率がプラスになったお客さまの比率は29.2%となりました。
- ・2024年3月末時点における運用評価率がプラスとなったお客さまの比率は70.8%となりました。
- ・2025年3月末時点における運用評価率がプラスとなったお客さまの比率は56.6%となりました。

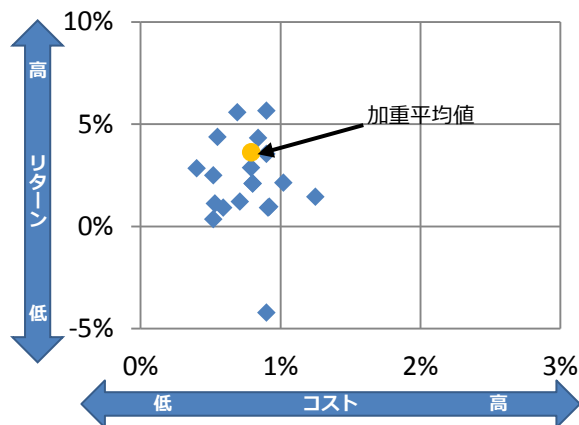




外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

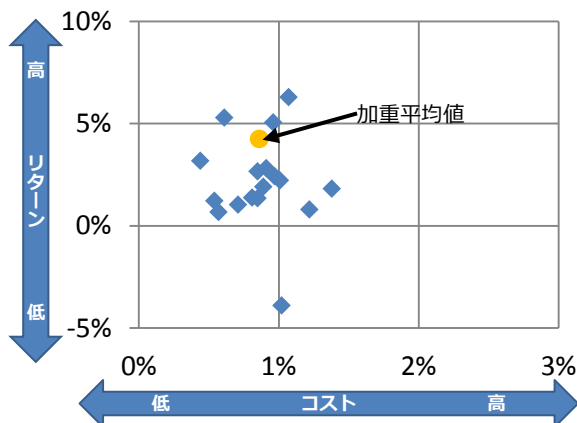
◆銘柄別コスト・リターン

銘柄別コスト・リターン（2025年3月末）



銘柄名	コスト	リターン	銘柄名	コスト	リターン
1. 生涯プレミアムワールド2	0.40%	2.84%	11. プレミアカレンシー3	0.90%	-4.22%
2. 生涯プレミアムワールド3	0.59%	0.91%	12. プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.80%	2.09%
3. 生涯プレミアムワールド4	0.91%	0.91%	13. プレミアストーリー2	0.79%	2.87%
4. 生涯プレミアムワールド5	0.90%	3.55%	14. プレミアプレゼント	0.92%	0.96%
5. デュアルドリーム	1.25%	1.44%	15. プレミアベスト	0.52%	2.50%
6. ファイブテンワールド	0.52%	0.35%	16. 夢のプレゼント	0.55%	4.38%
7. ふるはーとJロードグローバル	0.84%	4.33%	17. 夢のプレゼント2	0.69%	5.58%
8. ふるはーとJロードグローバルⅡ	1.02%	2.13%	18. ロングドリームGOLD	0.71%	1.22%
9. プレミアカレンシー・プラス	0.53%	1.12%	19. ロングドリームGOLD2	0.90%	5.66%
10. プレミアカレンシー・プラス2	0.80%	2.11%	20. ロングドリームGOLD3	0.98%	4.72%
加重平均値				0.79%	3.63%

銘柄別コスト・リターン（2024年3月末）

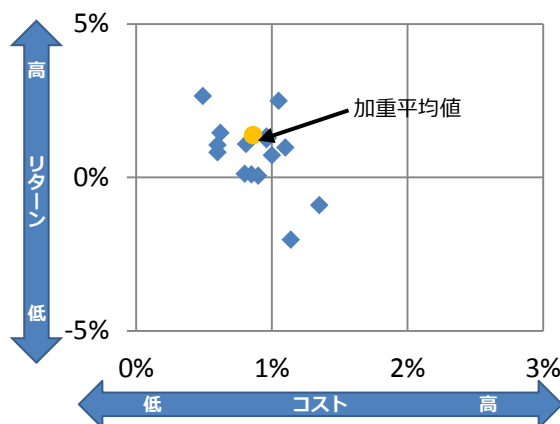


銘柄名	コスト	リターン	銘柄名	コスト	リターン
1. 生涯プレミアムワールド2	0.44%	3.19%	10. プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.89%	1.92%
2. 生涯プレミアムワールド3	0.71%	1.04%	11. プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.97%	2.43%
3. 生涯プレミアムワールド4	0.85%	1.35%	12. プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.22%	0.80%
4. 長寿プレミアム	1.02%	-3.89%	13. プレミアストーリー2	0.85%	2.66%
5. デュアルドリーム	1.38%	1.83%	14. プレミアベスト	1.01%	2.23%
6. ファイブテンワールド	0.57%	0.68%	15. 夢のプレゼント	0.61%	5.29%
7. ふるはーとJロードグローバル	0.96%	5.06%	16. ロングドリームGOLD	0.81%	1.39%
8. プレミアカレンシー・プラス	0.54%	1.23%	17. ロングドリームGOLD2	1.07%	6.30%
9. プレミアカレンシー・プラス2	0.91%	2.82%			
加重平均値				0.86%	4.26%



外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて ◆銘柄別コスト・リターン

銘柄別コスト・リターン（2023年3月末）



銘柄名	コスト	リターン	銘柄名	コスト	リターン
1. 生涯プレミアムワールド2	0.49%	2.65%	8. プレミアカレンシー・プラス2	0.96%	1.29%
2. 生涯プレミアムワールド3	0.80%	0.11%	9. プレミアジャンプ・年金(外貨建)	1.00%	0.72%
3. 生涯プレミアムワールド4	0.90%	0.05%	10. プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	1.10%	0.97%
4. デュアルドリーム	0.85%	0.09%	11. プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.35%	-0.91%
5. ファイブテンワールド	0.60%	1.05%	12. プレミアベスト	1.14%	-2.04%
6. ふるはとJロードグローバル	1.05%	2.49%	13. 夢のプレゼント	0.62%	1.45%
7. プレミアカレンシー・プラス	0.60%	0.81%	14. ロングドリームGOLD	0.81%	1.08%
加重平均値				0.86%	1.38%

- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。